

平成30年2月度定例自然観察会報告書

テーマ：「神戸の街を眺めて歴史を知る」

実施日：平成30年2月10日（土）雨

担当班：3班

① コース： 諏訪神社～猩々池～二本松～市章山～ビーナスブリッジ～金星台

② 時 間：

諏訪山児童公園集合（出発 9：40）→稲荷茶屋着（10：40）→猩々池着（11：40）途中二本松林道脇の広場にて昼食 →昼食後出発（12：20）→堂徳山を経て浅間ヶ丘到着（13:00）→雨の為ハイキング道が滑りやすく危険と判断してドライブウェイを通過してビーナステラスへ到着（13：50）当地にて、当初予定の浅間ヶ丘の海軍大将有馬良橋の碑と神戸沖の観艦式を明治天皇が行幸した様子の説明と、金星台にて勝海舟の碑と諏訪山公園や金星観察の話しをまとめて実施し→金星台にて解散（14:30）

③ 参加者： ビジター2名、会員20名、合計22名

（参考：2/3の自主研修は会員31名が参加.

④ 配布資料：コースマップ（植生名前記入付）

⑤ 説明担当：当初は4班に分け、各班スタッフ3名（説明者・アシスト・誘導）で対応、
会員は1グループで説明者と誘導者にて対応の予定がビジター2名であったのが1班が対応して、会員たちは夫々任意のグループで雨の中を出発した。

⑥ 概要と感想

当日は降水確率70%のなかでの定例観察会となった。そのためビジターは2名と当会過去タイの参加者記録となりました。3班として事前の下見は4回実施し、説明者は6～8回と事前準備をしていて万全の態勢で臨んだが拍子抜けの状態であったが、雨の中でも楽しく観察会ができました。

途中、事前に準備したハンカチに数種類の葉を別々に忍ばせて「葉っぱ当てゲーム」や①海軍大将有馬良橋の碑と②前述の諏訪山公園や金星観察の説明用のタペストリーを事前準備していた。本番は雨で参加者は少なかったが、準備は無駄ではなかったと感じました。

⑦ 観察した植物

トビカズラ・ヒマラヤスギ・ナギ・イヌビワ・カラマツ・サネカズラ・カミヤツデ・フヨウ・イチヨウ・モウソウダケ・ソテツ・マユミ・キヅタ・ハリエンジュ・ナラガシワ・スイカズラ・センダングサ・テイカカズラ・ノシラン・マテバシイ・ハゼノキ・ヤブニッケイ・トベラ・ムクノキ・ワジュロ・ネズミモチ・トウネズミモチ・クスノキ（巨樹）・サザンカ・イヌマキ・イチイ・カラスザンショウ・アベマキ・アカメガシワ・シラカシ・メタセコイア・キヅタ・モミ・カヤ・ムベ・ヤマコウバシ・クマノミズキ・ガマズミ・クサギ・ミツデウラボシ・アオギリ・シロダモ・モミ・カゴノキなど

植物以外にも岩脈が露呈している花崗岩の説明なども行いました。

⑧ 観察した冬芽などと風景



以上